(仮称) 国際センター駅北地区複合施設基本計画の実施方針

設計の理念と考え

これまでの長い積み重ねの上に結実した基本構想についての資料を拝見させていただきました。具体的な建築を望む切実な思いから、仮想的なものではない生身の身体性がここではもとめられていると感じました。歴史が積み重ねられてきたこの土地に傷をつけ建築することになるのですから、せめて先人からまあいいだろうと言っていただけるようなものをつくりたいと思います。今回、音楽ホールと震災メモリアル拠点を複合させるにあたり、震災メモリアル拠点が、音楽の生演奏と同等の身体性を持つためにはどうしたら良いのかを考えました。私たちは、震災メモリアル拠点が常設避難所としても成り立つようにすること、災害時には音楽ホールや劇場の施設を避難所の施設として柔軟に取り込めるように空間をつくることを提案させていただきます。常設避難所とは、避難所のあり方を日常的に改善し続ける研究施設のようなものと考えられますが、実際に災害が起こってしまった際には、速やかに避難所として機能させることができます。災害から人を守る空間を具体的につくること、このことが今回求められた基本構想の妨げとはならないように留意しながら設計を進めました。

基本計画

【敷地】この敷地の周辺には多くの重要施設があります。駅前に建つことになるこの建物がそこを訪れる人たちの回遊性を妨げるようなことになってはならないと考えます。広場のレベルでは建物内を自由に通り抜けることができるよう計画いたしました。その通路からは震災メモリアル拠点の展示、音楽や演劇のリハーサル場を吹き抜けを通して見ることができるように工夫しました。この敷地は現在駐車場やバスの発着所として利用されていますので、この機能をのこすため、大型バスやタクシーが進入できるようなゆとりのある地下駐車施設を駅に隣接させました。また現在の芝生の広場も芝生広場として継承し、キッチンカーが進入できる舗装広場とは空中デッキ（その下は雨を回避するための回廊）で緩やかに区切りました。埋蔵文化財包蔵地部分には施設本体ができるだけかからないよう配置計画をいたしました。

【施設の構成】各施設の床面積は表の通りです。「その他」の部分の多くが「ホールエリア」や「文化芸術創造支援・活用エリア」に含まれていること、化石燃料を直接燃やすような施設を非常用の発電機以外にはなくして、面積緩和を受けられる蓄電池室を積極的に設けたこと、空調機械は極力屋上などに設置するよう想定したことで、基本計画でお示しいただいた床面積の想定とは食い違いが出ています。建築面積は技術提案書に記載の通り11,472.88㎡です。

動線計画

【一般来館者】駅から広場または空中デッキを辿り、施設の中心部にある「大階段」の袂あたりに導き、そこから各施設に振り分けるように計画いたしました。すべての施設がそこからわかりやすく視認できるように工夫しました。

【出演者・関係者】西側の車寄せのある楽屋口から入り、そのロビーからそれぞれのエリアに向かえるようにしました。地下駐車場には関係者専用の出入り口があり、ここからも楽屋口のロビーにすぐに向かうことができるように工夫いたしました。

【搬入車両】大ホール用に大型車両２台で舞台と同じレベルの床に搬入できるようにしました。小ホール用には大型車両１台が駐車でき、荷物用エレベータまたは大型リフトで搬入できるできるようにしながら震災メモリアル拠点への搬入経路も確保しました。大ホール用、小ホール用どちらからも地下のリハーサル室に搬入可能な経路を確保しました。レストラン用に地下駐車場から直接バックヤードに向かえる経路を確保しました。

【大規模学会での施設利用】大ホール、小ホール、音楽リハーサル室、舞台芸術リハーサル室、ワークショップスタジオ、練習室群をわかりやすく利用できるように空間を構成しました。また、このことについて検討することが、災害時にはこれらすべての空間が避難施設の空間としても利用できるようにすることにつながりました。

災害に強い施設づくり

【地震への備え・大雨への備え】免震構造を検討します。敷地内に流入した雨水をどう処理するかは大きな問題で、東側公園方面及び河川へ放流できないか協議できたらと思います。

諸室計画

ホールエリア

【大ホール】コンサートホール形式またはプロセニアム劇場形式に転換可能です。後舞台に格納した客席をレールでスライドさせサラウンド型の客席構成に転換することが可能です。コンサートホール形式の場合には車椅子用スペース24席分を含め計2002席を確保いたしました。客席は幅600mm、前後間隔は950mm以上と余裕のある寸法でかつ全席千鳥配置としました。車椅子用席はスタンディングのない催しの場合には車椅子利用者がペアで観覧でき観衆の中に自然に馴染めるように工夫しました。スタンディングが予想される場合には桟敷席の椅子をはずすことで対応が可能です。この席からもトイレには段差なく行くことができます。ホワイエからは東側の景色を眺めることができビュッフェスペースを設けました。ホワイエから震災メモリアル拠点の展示を吹き抜けを通して眺めることができるよう工夫しました。地下には浴室を設け避難所からも使うことができるようにしました。

【小ホール】大ホールと同様な余裕のある客席配置とし、350席を確保しました。後部に階段状のエリアがありここをホワイエとして使うことを考えました。舞台上部にフライタワーは設けませんが大きな側舞台があり通常の演劇であれば開催が可能なように計画しました。投光室は一箇所のみですが遠隔のコントロール室と考えています。大階段の最高の位置にあり建物の最上階でもあるので構造的にも意匠的にも自由なものを考えました。客席部分のみですが、時代に合わせて建て替えまたは交換が可能になるよう検討いたします。

文化芸術創造支援・活用エリア

【音楽リハーサル室】大ホール舞台と同じ広さと高い天井高さを確保しました。大階段脇のエスカレータを降りるとすぐに辿り着けますので大規模学会での講演などの利用も可能です。連絡通路を通り抜けるだけの人たちにも吹き抜けを通してその存在を感じることができるよう工夫しました。

【舞台芸術リハーサル室】音楽リハーサル室と同様、アプローチしやすい位置に配置しました。震災メモリアル拠点のすぐ隣にあり、災害時には防音が必要な方々のための広い空間として活用できるように検討できたらと思います。

【練習室群】こちらもアプローチしやすい場所にあり防音性能が高いちいさめの空間としましたが、防犯上、通路側はすべてガラス張りとします。ロビーをはさんで隣接する震災メモリアル拠点とはガラスのスクリーンによって仕切り、互いの様子がわかるように考えました。災害時には個室が必要な方々が利用できるよう検討できたらと思います。収録室を光庭の近くに配置しました。

ワークショップゾーン

【ワークショップスタジオ】各参加者と等距離で向き合えることを重視し、幅と奥行きが同程度の室形状(正方形、正多角形等)とする、ということから、円形のガラス張りの空間として計画しました。公園に面した静かな場所ですが、公園からの通り抜けの通路がありそれを活かすことで活動の雰囲気を外部にも自然に伝えられると考えました。

【創作アトリエ】公園に面した落ち着いた雰囲気の場所ですので屋外のテラスも設けました。ロビーの吹き抜けを通して震災メモリアル拠点の展示を眺めることも可能です。

【子どものための空間】大階段の袂にあって、この施設の中で一番便利で多くの人の目に留まる位置に計画しました。公園に面し落ち着いた雰囲気もあります。クワイエットスペースからも様子が伺える位置にあり、ただの託児施設ではなく、いろいろなひとたちに影響をあたえてくれるのではないかと期待しています。

災害文化創造支援・発信エリア

この建築の中心部に配置し、常設避難所としても機能するよう考えました。大ホール客席下の大きな空間をそのままつかうことで、比較的小さな床面積にもかかわらず大きな空間を感じることができます。地下にありますが光庭があったり、上階の空間を通して自然光が落ちてくるよう工夫しました。展示スペースの両サイドに交流連携スペースを帯状に配置しました。常設避難所として間仕切り等を検討し、そこがそのまま展示スペースであったり、交流連携スペースとしてつかうことを提案いたします。避難所こそが災害文化創造の鍵だと考えます。また、常に避難所を改善する工夫が行われることになるので、たいへん有益な施設になると思います。

広場エリア

交流ロビーゾーン

【交流イベントロビー】駅を出てすぐに目につく場所に計画いたしました。舗装広場での催し物と連携できるように考えました。さまざまなイベントのほかに、災害時には炊き出しの拠点としても機能するよう大型の厨房施設を設けます。

【情報コーナー（インフォメーション）】大階段の袂、広場レベルのロビーに配置しました。

【レストラン】空中デッキと同じレベルにあり、小劇場の客席下の大きな空間を活かした計画になっています。空中デッキとの繋がり部分を広いテラスとし、こちらにもテーブルを出すことを検討できればと思います。

【クワイエットスペース】大階段の一番下、象徴的な軸線から少し外れて半分芝生広場にかかるように配置しました。災害文化創造支援・発信エリアからエスカレータで地上に上がった時に目につく位置にあります。大きなガラスの円筒を二つのフラットなスチールの構造材によって地上から400mmほど浮かせました。構造材のすきまからこの空間に入るとその中心部には石の円筒があり、屋根に開けられた丸い穴から雨水の雫がそこに落ちます。

【屋外広場】芝生広場と舗装広場を設け空中デッキで緩く分離させました。舗装広場にはキッチンカーが入って来られるようにしました。

運営エリア

【運営エリア】西側楽屋入り口部分のエリアに執務室等を配置しました。応接室、会議室は、貴賓や仙台国際音楽コンクールにおける審査員の滞在場所になること等も想定し、仙台フィルハーモニー管弦楽団事務局のロビーとつなげることでホール及び楽屋等へのアクセスが容易になるようにしました。中央監視室と医務室（処置室）を地下一階に設け緊急車両用の駐車スペースも隣接して設置しました。備蓄倉庫を災害文化創造支援・発信エリアと同じ階に設置しました。

【仙台フィルハーモニー管弦楽団事務局】楽屋口ロビーの象徴的なエレベータを上ると仙台フィルハーモニー管弦楽団事務局のロビーです。事務局執務室、会議室、楽器庫、楽譜庫、楽団員ラウンジのほかに練習室をいくつか設けました。大ホール舞台および音楽リハーサル室とはロビーから荷物用エレベータで繋がれていて楽器を素早く運ぶことができます。

その他

【駐車場】一般来館者用駐車場を車椅子対応駐車スペース１０台分を含めて計１００台、関係者用駐車場を車椅子対応駐車スペース６台分を含めて計４０台分設けました。関係者用駐車場は一般来館者用駐車場と同じフロアにありますが経路を明確に分けかつ視線を遮り、出入り口も一般来館者用と関係者用を明確に分けました。大型観光バス（車高3500)が待機できるようにバスの進入経路の階高を5500とし、軌跡のシミュレーションも行い、安全を確認いたしました。大型観光バスの待機スペースは４台分あります。タクシー乗り場を駅に近い部分に設けました。十分な待機スペースと追い越せるような道幅を確保しました。緊急車両用の駐車スペースを医務室、中央監視室に隣接して設けました。地上の楽屋口には車寄せを設けより安全に入館できるようにしました。

【駐輪場】舗装広場にコミュニティサイクル用として設けました。

【トイレ】大ホールのトイレは男子用女子用に加えて男女兼用を加えました。男女比の違いをこの部分で調整でき、バリアフリー、子供用なども効率よく配置できるようになりました。誰でもが使えるトイレは広場レベルにある通り抜け通路から利用できるものを設けました。

設計を進める上で特に留意すること：専門性が高い課題が複雑に絡み合っており、様々な意見に対して素直にどれだけ耳を傾けられるか、ということ。

コスト縮減に関する提案：仕上げ材料などの種類をできるだけ少なくするとともに、それが建物の価値を上げることに繋がるように計画します。

将来の大規模改修を想定した設計上の配慮：特殊な材料は極力控えるとともに、人々に愛され続ける建物となるように注力致します。

面積表

	容積対象																					容積対象外		
	ホールエリア			文化芸術				災害文化				広場エリア					運営			その他	合計	駐車場	ピロティ等	合計
	大ホール	小ホール	計	リハーサル	練習制作	ワークショップ	計	展示	交流	ゲートウェイ	計	交流	情報	クワイエット	カフェ等	計	管理執務	仙台フィル	計					
PH	502.49	0.00	502.49	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	502.49	0.00	0.00	0.00
5F	216.47	0.00	216.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	216.47	0.00	0.00	0.00
4F	1,059.88	0.00	1,059.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	130.88	1,190.76	0.00	0.00	0.00
M4F	311.55	1,843.59	2,155.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	174.73	1,044.39	1,219.12	966.61	4,340.87	0.00	0.00	0.00
3F	1,793.41	0.00	1,793.41	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	165.26	0.00	165.26	321.68	2,280.35	0.00	0.00	0.00
2F	5,957.06	373.75	6,330.81	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	497.25	497.25	128.51	0.00	128.51	1,020.12	7,976.69	448.57	815.97	1,264.54
1F	842.00	0.00	842.00	0.00	0.00	724.18	724.18	0.00	0.00	0.00	0.00	1,220.27	110.49	63.61	0.00	1,394.37	0.00	0.00	0.00	2,247.44	5,207.99	0.00	869.81	869.81
B1F	833.86	0.00	833.86	1,712.74	964.98	0.00	2,677.72	414.37	662.99	165.74	1,243.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	300.85	0.00	300.85	2,449.67	7,505.20	6,197.46	1,220.10	7,417.56
B2F	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,419.66	2,419.66	0.00	0.00	0.00
計	11,516.72	2,217.34	13,734.06	1,712.74	964.98	724.18	3,401.90	414.37	662.99	165.74	1,243.10	1,220.27	110.49	63.61	497.25	1,891.62	769.35	1,044.39	1,813.74	9,556.06	31,640.48	6,646.03	2,905.88	9,551.91

（容積率対象床面積）